輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind

令和４年度、いよいよ最終週へ！

－ Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

いよいよ令和４年度も来週で最終週となります。全国から桜の便りが聞かれ始めました。昨日は市内の４中学校で卒業式が行われました。中学校９年生のお子様をお持ちの保護者の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。昨日は、天候にも恵まれあたたかい一日となり、本当によかったと思います。小学校とは卒業式の趣も違っていることと思います。お子様の立派な晴れ姿、きっと眩しいものだったのではないでしょうか。義務教育を終え、大きな節目となる９年生の卒業、新たな旅立ち、それぞれの春に向かってより高く羽ばたいて欲しいと願っています。

さて、中番小学校も来週23日に卒業式、24日に修了式があり、令和４年度もいよいよ最終週を迎えることとなりました。子供達の登校する日数も今日を含め、１・２・３年生は４日、４・５年生は５日、６年生は４日となりました。本当に終わりを迎えていると感じます。昨日、体育館に紅白幕が設置されました。館内がとても晴れやかになるとともに一段と厳粛な雰囲気が漂ってきました。先日、次のような言葉に触れる機会がありました。「**『ありがとう』の数だけ優しくなれる。『ごめんなさい』の数だけ賢くなれる。『さようなら』の数だけ愛を知る**」保護者の皆様はどのようにお感じになられるでしょうか。私はとても素敵な言葉だなあと思いました。「ありがとう」いう感謝の言葉を自分から発したら、その分優しくなれる。「ごめんなさい」という言葉を自分から発したら、その分賢くなれる。「さようなら」という言葉を自分から発したら、その分愛を知ることができる。これらの言葉は、私達にとてもあたたかく、そして、深い問いを投げかけてくれます。卒業シーズン、色々な場所で様々な場面で素敵な言葉を聞いたり、見たりすることがあります。そんな言葉に少し立ち止まって、自分なりに感じたことに思いを馳せてみるのもいいのかもしれません。「**ありがとう**」私達は決して一人で気ままに生きている訳ではありません。今、自分が生きている、生かされているのは、誰かの支えがあってのことです。全くの一人では生きていくことは不可能です。「**ごめんなさい**」生きていく中では失敗や間違いをしてしまう、そんなことはよくあること、誰にでもあることです。でも、その時、素直に自分を振り返ることができるのか、その失敗や間違いを誰かのせいにしたり、隠したりしてしまう、そんな気持ちになることがあります。失敗や間違いがダメなことではなく、その失敗や間違いを素直に認めたり、受け入れたりすることで、私たちは少しずつ成長していくのだと思います。失敗や間違いから一歩を踏み出すことが大切なことだと思います。「**さようなら**」別れは辛い、寂しい、悲しい、苦しい、そんなことが多いと思います。一生のうちの生死にかかわるようなさようならもあれば、ある程度の期間を経たもの、毎日の生活の中で日々交わされているさようならもあります。愛を知る、なかなか深く、簡単に言葉では言い表せないものだとも思います。でも、一度、自分自身でこの意味を考えてみるのもいいのかもしれません。卒業シーズンを迎え、多くの素敵な言葉に出会う機会があります。人は言葉で考える生き物です。**自分の思いや考えを言葉に表し、書き出してみる。そのことは自分の素直な思いや考えをつかまえることになります。**

明日から土日の休み、月曜日に一日登校して次の日は春分の日で休みとなり不規則になります。子供達には、体調管理をしっかりと行い、残りの少ない日々を「**事故無く、怪我無く、安全に**」過ごして欲しいと願っています。子供達が規則正しい生活リズムで過ごし、健康で安全な家庭生活・学校生活が送れますよう、今後とも、保護者の皆様のご理解とあたたかいご支援、ご協力を賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。